

日本慢性期医療協会 回復期リハビリテーション委員会研修会 開催のご案内

廃用症候群はどこで作られるのか

謹啓 ますますご盛栄清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記のとおり、回復期リハビリテーション委員会主催の研修会を開催することになりました。平成 20 年度診療報酬改定によって、廃用症候群に対する取り扱いがより一層厳しさを増しました。診療報酬制度では廃用症候群を起こさないこと、やむを得ずそのような状況に陥った場合は速やかに対策を講じることを求めています。しかし、廃用症候群に陥った患者が適切な医療を受けることができないという現実も多くみられています。日本国憲法は国民が平等に医療を受ける権利を保障していますが、制度上の有効期限を過ぎていたり、明らかなエピソードがないことだけで回復期リハビリテーション病棟の対象として認定されないことに多くの方々が疑問を感じていらっしゃるかと存じます。今回の研修会ではその廃用症候群に焦点を当ててみます。

制度上の問題はともあれ、それぞれのサービス主体で廃用症候群を起こさないことが何よりも大切なことです。それぞれのサービス主体がそのために取り組むべき課題を明らかにし、有効な連携をなし得るシステムを構築しなければなりません。講演およびパネルディスカッションを通して、これらの問題について考えてみたいと思います。皆様の参加をお待ちしています。

敬具

日本慢性期医療協会 会長 武久洋三

回復期リハビリテーション委員会 委員長 橋本康子

[開催概要]

開催日時：平成 21 年 3 月 1 日（日）10：00～16：30

会場：主婦会館プラザエフ

東京都千代田六番町 15 TEL. 03 - 3265 - 8111

JR 四谷駅下車 麹町口より徒歩 1 分

<http://www.plaza-f.or.jp/information/otoiawase/otoiawase.html>

テーマ：廃用症候群はどこで作られるのか

定員：160名（1施設3名まで・先着順）

参加費：日本慢性期医療協会会員施設の職員 10,000円（昼食込）

* 会員外の施設の職員の方 20,000円（昼食込）

申込締切：平成 21 年 2 月 5 日（木）

企画：日本慢性期医療協会 回復期リハビリテーション委員会

主催・申込先：日本慢性期医療協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-1-7 コスモ新宿御苑ビル 9 階

TEL. 03 - 3355 - 3120 FAX. 03 - 3355 - 3122

回復期リハビリテーション委員会研修会 ～ 廃用症候群はどこで作られるのか～

プログラム

日時：平成21年3月1日（日）

会場：主婦会館プラザエフ

- | | | |
|-------------|-------------|---------------------------------------|
| 10：00～10：10 | 開会挨拶 | 橋本 康子（回復期リハビリテーション委員会委員長） |
| 10：10～10：20 | アンケート報告 | 木下 祐介（回復期リハビリテーション委員会委員） |
| 10：20～10：50 | プレゼンテーション1 | 急性期から
長束 一行（国立循環器病センター・内科脳血管部門医） |
| 10：50～11：20 | プレゼンテーション2 | 回復期から
大熊 るり（初台リハビリテーション病院・医師） |
| 11：20～11：50 | プレゼンテーション3 | 看護師から
梅崎 亜希子（光風園病院・副看護部長） |
| 11：50～12：50 | 昼 食 | |
| 12：50～13：20 | プレゼンテーション4 | 介護から
小山 さおり（千里リハビリテーション病院・介護福祉士主任） |
| 13：20～13：50 | プレゼンテーション5 | セラピストから
渡邊 要一（永生病院・PT） |
| 13：50～14：20 | プレゼンテーション6 | 在宅から
野尻 晋一（介護老人保健施設 清雅苑・PT） |
| 14：20～14：35 | 休 憩 | |
| 14：35～16：30 | パネルディスカッション | 座長 橋本 康子
パネリスト 上記6名 |
| 16：30 | 閉 会 | |

総合司会：木下 祐介